



2014-2015年度R.I. テーマ



「山芍薬」写真提供：長田 達明 会員



- ◆ 会長 牧野 健吉 ◆ 幹事 佐々木祐司
◆ 発行 会報委員会 2月担当 長 田

第2297回例会 2月3日(火)

- ◆ 点 鐘 牧野 健吉 会長
- ◆ 司 会 佐々木祐司 幹事
- ◆ 国歌斉唱
- ◆ ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテストの唱和 職業奉仕委員会
- ◆ ゲスト
 - 第2610地区富山第一分区ガバナー補佐 新庄 寿一 様
 - 滑川RC 水橋 哲夫 様
 - 社団法人新川老人福祉会研修生 スリ・スヤンティニンシヒ 様
 - 交換留学生 オリビア・スミス 様

☞ ハッピーバースデー ☞

2月5日
原 君

・ 1月27日 長 田 夫人

◆ 会長挨拶

皆さんこんにちは。
今日は交換留学生であります、オリビア・スミスさん

の例会初出席です。

可愛い娘さんが魚津西クラブに誕生したように思います。日本の文化・歴史・スポーツに触れ、1年間良き思い出をたくさん作り、軽くて大きなお土産にしてください。

また、メンバー家族との交流もお考えいただければ幸いです。

最近、魚津の夜のイルミネーションが少ない様に思いますが、全国的には大規模なものから各家庭をいろいろ個性的なものまで、多種多様なイルミネーションがあります。魚津駅前のイルミネーションと『たてもんのオブジェ』を市制40周年事業でやりたいと私の考えで提案し、実行しました。その時は市役所前～サンプラザ前と、魚津駅から山側の県道までの100本の街路樹に3万個の電球で冬の風物詩として、暖かさや元気をアピールして参りました。最近では駅前ロータリーの木々だけになり、私は寂しい思いをしていますがお金も掛かることもあって、無理は言えないと考えております。

◆ 出席報告 (清河委員長)

- ・ 出席率 会員30名中(出席免除者2名) 24名 85.71%
- ・ 欠席者 畠山君、石崎君、窪田さん、横谷君の諸君
- ・ 前々回 (2295回) の修正
メーク・アップ 長田君：75.0%→78.57%

創立1968年 (昭和43年) 5月27日〔第2610地区内創立順位19〕

例 会：火曜日 12:30 於. いかわ信用金庫本店5 F TEL (0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL (0765) 22-0715

◆ 幹事報告

- 魚津しんきろうマラソン実行委員会より
 - ・魚津しんきろうマラソン開催について
- 富山県国際・日本海政策課長より
 - ・富山県内における国際交流・協力等に関する調査について

☆ 2月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
2/10(火)	卓話担当：吉田君 Rの友・情報紹介	喜 楽
2/17(火)	夜間例会	喜 楽
2/24(火)	卓話担当：富川君	喜 楽

★ 2月のSAA補助

木下君・横谷君の諸君です。よろしくお願ひします。

◆ ニコニコボックス

- ・新庄ガバナー補佐：志
- ・滑川R C水橋哲夫様：志
- ・吉田築夫君：お陰様で無事、オーストラリアを楽しんできました。これもロータリアンであったが為と改めてロータリアンで良かったと思っています。また、機会があれば話をしたいと思っています。
- ・富川義隆君：お陰様でスタッフがジャパンラテアートチャンピオンシップ大阪予選で一位になり、2月17日にビックサイトで行われる決勝に進出しました。今年こそは日本代表になり世界大会に行ってくれればと思っています。

今週までの合計額 403,000円

◆ 交換留学生 オリビア・スミス様 自己紹介



◆ 卓 話 「ゲスト卓話」



社団法人新川老人福祉会
研修生
スリ・スヤンティニンシヒ 様

皆様こんにちは。はじめまして、私は魚津市特別養護老人ホーム新川ヴィーラで介護士として働いているインドネシアのスリ・スヤンティニンシヒと申します。普段ヤンティと呼ばれています。

今回、私はインドネシアと日本で働いていることについてお話ししたいと思います。インドネシアはマレーシアやフィリピンやシンガポールの近くにあります。日本からは飛行機で8時間ぐらいかかります。インドネシアは熱帯諸国ですから季節が2つあって、暖かい国です。気温は22℃～33℃で温度はあまり高くないです。4月～9月は乾季で10月～3月は雨季です。雨季の時、大雨や雷がよくおこります。インドネシアの人口は約2億4400人です。高齢者率は5.6%です。皆様、プリントの地図をごらんになってください。インドネシアは5つの大きな島で構成されています。一番左からはスマトラ島、ジャワ島の上はボルネオ島、ボルネオ島の隣はスラウェシ島、一番右はイリアン島です。一番人口が多いのはジャワ島で、首都もジャワ島にあります。それは有名な町のジャカルタです。ジャカルタ以外に有名な所はバリ島です。外国人に観光地としてバリ島はとても有名で、人気があります。たくさん美しい所がありますが、他にはロンボク島・ジョグジャカルタ・チルボン・ソロなどはおすすめです。皆さん、インドネシアに行ったことがある方はいらっしゃるでしょうか？チャンスがあればぜひいらしてください。来てくださればうれしいです。

次に日本で働いていて感じたことについてお話しします。

私は高校生の時から日本が大好きで、一生に一度だけ日本へ行きたいという夢がありました。2013年、日本へ行けるチャンスが来ました。インドネシアと日本の経済連携協定（EPA）に基づき、看護師候補者または介護福祉士候補者として日本で働けるチャンスがあり、来日しました。2013年6月26日、来日した日は一生忘れられなくなりました。初めての感想は、日本の道路にはゴミ一つないし、車の渋滞もないし、「すばらしい国だなあ」ということでした。外国で働くのは初めてのなので、色々なことを経験し、勉強になりました。やはり思ったよりたくさん難しいことがあります。言葉も違うし文化も違うし季節も違う為、慣れるまでたくさん大変なことがありました。

インドネシアでは高齢者率は低いので、日本にあるような施設はあまりありませんでした。ですから、介護の仕事もない為、たくさんの方がわからなかったし、どんな仕事をするのか想像できませんでした。「介護福祉士」という職につくのは初めての経験であり、自分に介護の仕事がうまくできるのだろうか、コミュニケーションがうまくできるのだろうかとの思いがあり、とても不安で心配でした。

けれども上司や先輩の方々のやさしさや温かさに支えられ、今に至っています。

日本で働きながら日本語を勉強しています。3年目には介護福祉士の国家試験を受けて、合格したら日本で働き続けることができます。介護の仕事については楽しいですが、時々大変なこともあります。利用者さんはよく魚津弁を使っておられ、利用者さんとおしゃべりする時に、時々わからない言葉があります。その時は笑顔で「そうですか」や「そうですね」と答えて対応をしています。これからも介護福祉士候補者として頑張って仕事をして国家試験の合格を目指すつもりです。

2013年12月2日 北日本新聞掲載



第2298回例会 2月10日(火)

- ◆点 鐘 牧野 健吉 会長
- ◆司 会 佐々木祐司 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」

☺☺ ハッピーバースデー ☺☺



2月23日
千 田 君

- ・ 2月22日 宮 田 夫君
- ・ 2月23日 南 夫人

◆ 会長挨拶

皆様こんにちは。
立春も過ぎ早くも2月10日となりました。
1日1日陽が上るのも早くなり、陽が沈むのも遅くなってきました。日中の時間が多くなり、十分に活動してくださいと言うことかなと思っておりますが、私はまだまだ冬に浸かっております。

最近の積雪量予報には驚かされます。全国放送で北陸地方は60cm～80cmとか9日は多いところで1mとのことですが、起きてみると10cm位。安堵はするものの、商売柄お客様の為に前日から水を3か所から出しっぱなしなので、水中ポンプは働きづめで経費の無駄遣いです。北陸地方という言い方は新潟を含めて言っているからでしょうか？私たちが知りたいのは山の雪の量ではなく、平野部の量を知りたいと思っていますと思うのですが、皆様はいかがでしょう？

◆ 出席報告 (清河委員長)

- ・ 出席率 会員30名中(出席免除者2名) 19名 67.85%
- ・ 欠席者 芦崎さん、畠山君、原君、石崎君、慶野君、森本君、鈴木君、富川君、横谷君の諸君
- ・ 前々回 (2296回) の修正
メーク・アップ 長田君：78.57%→82.14%

◆ 幹事報告

- 魚津しんきろうマラソン実行委員会より
・第35回魚津しんきろうマラソンの協賛について
- (公社)とやま被害者支援センターより
・賛助会員募集のお願いについて

☆ 2月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
2/17(火)	夜間例会	喜 楽
2/24(火)	卓話担当：富川君	喜 楽

★ 2月のSAA補助

木下君・横谷君の諸君です。よろしくお願ひします。

◆ニコニコボックス

- ・加納綾子さん：思いもかけず佐佐木先生の歌壇に取りあげ頂き嬉しゅうございました。有難うございました。

今週までの合計額 420,000円

◆卓話 「会報委員会の委員長を受けて 思いつく事」



柴垣尚一君

会報委員会は大変な委員会だと思っていました。なぜなら、私が当クラブに入会してから、先輩諸氏が良く話して下さいました。それが記憶に残っていたと思います。よく考えてみますと、企画・構成・原稿の収集・校正など不慣れでは遣えない委員会のはずです。

私も新聞は良く読みます。編集の人達は、記事を読者に読んで頂くために苦勞をしていると思っています。

当クラブでは、会報のマニュアルを定めて、誠に優しく作れるようになっていました。これも前任の委員長さんたちがいろいろ考えて、今日の形になったのだと思います。

私は文章の校正を今まではあまりしていませんでしたが、会報委員になって、初めて漢字や仮名送りや熟語の意味等を改めて調べる機会を設けさせて頂きました。

以前は卓話を録音してそれを何回も聞いて、文章にして、会報に掲載したと私は聞かされてきました。話をしている人の意図を的確に伝えることが難しかったと思います。今では、話をされる人に前もって内容の原稿をお願いしています。当クラブではこれがあたりまえとなっています。

さて、過去の会報を読みますと、会員の皆さんは、自分のお仕事を喜怒哀楽を含めてお話されるから、私達に分かりやすく、心に残るお話が多々あります。個人名を避けますが、私自身、必要な事があればひろげて観ています。必要においては大変ためになります。会員の皆さんも、時には読むのも良いと思います。

当クラブは月2回会報を作っています。これは大変素晴らしい事だと思います。クラブの例会の内容がすぐに分かるようになっていました。写真も時には掲載しています。元会員の方・交換学生・卓話に来ていただいた方・その他懐かしい人達を思い出すことが出来ます。

会報の制作に関わることで、ロータリーの知識も自然のうちに分かってくるような気がします。私もロータリーを理解し、いちロータリアンとして邁進する次第です。

